

# 平成30年度活動報告書

## 目次

はじめに 中野会長 挨拶

### I 地域情報化の推進活動

- I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会
- I・2 長崎市 IoT 推進ラボ
- I・3 長崎県IT融合化推進協議会 (ES-Nagasaki)
- I・4 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)
- I・5 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)
- I・6 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ
- I・7 長崎県 H29 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」
- I・8 長崎県中小企業団体中央会関連

### II 交流事業

- II・1 他団体・大学等との交流事業
- II・2 長崎県立大学 講座「企業研究」
- II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会
- II・4 通常総会・講演会・交流会
- II・5 我が社の一押し
- II・6 ビジネスコラボ事業
- II・7 IPA 第 13 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

### III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修 (「講演セミナー事業」)
- III・3 新入社員向け IT 技術者研修を実施(「受託事業」)
- III・4 IPA「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ」(中小企業向け IT スキル標準)
- III・5 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナー

### IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

### V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

### VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

### VII 理事会(役員会)

# 平成 30 年度活動報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

## はじめに

平成30年度の国経済は、緩やかな回復基調を続けました。雇用所得環境が着実に改善、地方や中小企業にも好循環が波及する中、生産性の向上が喫緊の課題となっています。持続的な経済成長を達成する鍵を握るのは、第4次産業革命とも呼ばれるイノベーションの波を捉え、人づくりや多様な働き方の実現が大きな課題となっています。

長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けており、雇用・所得環境をみると、労働需給は改善が続いています。平成28年度から32年度の5か年計画は、県づくりの新たな視点で「長崎県総合計画チャレンジ2020」が策定され、3年目の平成30年度では、AI・IoT、ロボットなど新産業創出や、製造業・サービス産業の生産性向上等へ向けた企業間連携の強化などの新たな取り組みが推進されてきました。

当協会の活動においては、重点事業として取組んでいる研修事業を、会員皆様の課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て実施しました。実施にあたっては、厚労省の助成金制度であります「人材開発支援助成金」を、会員皆様に積極的に紹介し、活用して頂きました。皆様方には IT 業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂きました。会員企業様の多忙な業務の中、目標の 200 名には達しませんでした。173 名の方に受講して頂きました。会員の皆様に重ねて厚くお礼申し上げます。

次に、情報提供事業では、関係団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。

長崎県における AI・IoT、ロボット技術等先進的ビジネス創出と事業化を目指し、県では「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が立上り、協会会員様は中心的役割として活動を継続してきました。また、経済産業省が推進する「地方版 IoT 推進ラボ」に、長崎県、長崎市、南島原市が選定され、その活動を推進するため、それぞれの研究会に積極的に参加し、県内の企業様のお役に立てるよう鋭意活動中です。

県内情報系高校への企業説明会および県立大学生への長崎 IT 企業研究会として情報サービス業の現状や会員企業の事業説明会を県と共催し、業界・企業の現状を理解いただき、今後の県内就職に対する強いメッセージとなりました。

また、2ヵ月毎に実施していますビジネスコラボ会には、会員の方々に案内をしており、参加によりお互いに親交を図り信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

平成 30 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会  
会長 中野 一 英

## I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、県・市事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

### I・1 長崎県次世代情報産業クラスター協議会(敬称略)

会長 中野 一英(NISA 会長)、副会長 大神 吉史(大新技研㈱ 代表取締役)

ロボットやIoTに代表される第四次産業革命の技術については、社会への急速な普及が進んでいるが、県ではこの流れを的確に捉え、高度専門人材の育成や県内企業間の連携促進を目的とした「長崎県次世代情報産業クラスター協議会」が設立された。H30-5-9(水)設立総会で、会長 副会長を選出した。

なお、本協議会活動は「長崎県IoT推進ラボ(地方版IoT推進ラボとして経産省選定)」の事業の一環として実施する。

#### (1) 目的

県内のロボット、IoT、組込み関連産業の高度人材の育成や、これらの先端技術を提供する企業と活用する県内企業とのマッチング等によって、技術の活用を促進するとともに、事業拡大や新たなサービスの創出等につなげ、県外需要の獲得や生産性の向上、付加価値の向上等を図ることを目的とする。

#### (2) 事業

協議会では、前条の目的を達成するため、長崎県が実施する次の事業に参画する。

- ・ロボット・IoT等の分野における高度専門人材の育成
- ・普及啓発セミナー、導入企業向け基礎講習会等の開催
- ・製品・サービス等の開発による事業化のためのマッチングと伴走型支援の実施
- ・開発実証に係る外部資金等の獲得支援及び補助金による支援

#### (3) 会員

NISA 会員および NISA、長崎県製造業企業が参加し、現状 133 社

#### (4) 活動項目(NISA 会員の参加)

##### ①IoT, AI ワークショップ

H30-9-26 から 3 回	ワークショップ	IoT・AI 推進プロジェクト 製造業付加価値創造ワークショップ
H30-10-12,13	ワークショップ	長崎県ユーザー企業向け講習会(第1回) ものづくり企業のための IoT 導入ワークショップ

##### ②先端技術講座

H30-10~H31-1 各 2 時間×15 回	座学 (長崎大学大学院)	社会人向け IT先端技術習得講座 ①人工知能連携型 IoTシステム構成技術基礎&実践講座 ②人工知能基礎講座:ITエンジニアの「常識」としての機械学習 ③観光関連ビッグデータを題材とした分析技術基礎&実践講座 ④IoT、人工知能を活用したビジネスモデル構築実践講座
-----------------------------	-----------------	--

##### ③IoT/ロボットシステムインテグレータ育成講座

H30-10-3 から 6 回	座学/実習	第1回 IoT システムインテグレータ育成講座
H31-1-23 から 5 回	座学/実習	第2回 IoT システムインテグレータ育成講座
H30-9-6 から 7 回	ロボット関連実習	第1回ロボットシステムインテグレータ育成講座
H30-12-5 から 7 回	座学/実習	第2回ロボットシステムインテグレータ育成講座

##### ④IoT 講演会・セミナー

H31-1-25	講演会	IoT・AI推進プロジェクト in Nagasaki 講演会 ～『ものづくりにおける付加価値の創造に向けて』
H31-2-19	セミナー	ロボット・IoT普及啓発セミナー
H31-3-8	セミナー	長崎県ユーザー企業向け講習会(第5回) 製造業におけるIoT 導入セミナー

##### ⑤ロボット関連講座

H30-8-7	座学	第1回経営者向けセミナー「産業用ロボット導入のヒント&中小企業ができるIoT活用術おしえます」
H31-1-17	関連企業現場	長崎県ユーザー企業向け講習会(第3回) ロボット・IoT視察バスツアー
H31-1-24	講演・実演	長崎県ユーザー企業向け講習会(第4回) 次世代産業用ロボット操作体験セミナー(長崎)

H31-1-25	講演・実演	長崎県ユーザー企業向け講習会(第5回) 次世代産業用ロボット操作体験セミナー(佐世保)
----------	-------	--

## I・2 長崎市 IoT 推進ラボ(地方版 IoT 推進ラボとして経産省選定)

(1)担当部署:長崎市商工部 商工振興課

### (2)事業の概要

- i)長崎地域では、人口減少とともに労働力人口の減少が顕在化しており、地場製造業が地域内の生産額を維持するには生産性の向上が不可欠である。このため、IoTを活用した生産性向上の取組みを推進し、長崎地域製造業の競争力が強化される。
- ii)地域内の核となるプレイヤーで長崎市IoT推進ラボを組織し、相互に連携するとともに、国等の関連機関との連携を図りながら、長崎地域製造業へのIoT導入への取組みを加速する。

### (3)評価指標

本事業を通じて、2020年度までにIoTを活用した製造業の活用事例を5件創出

### (4)今後の展開

市内においてIoTの活用が見込まれる分野への展開を図る。  
人材不足を背景に、業務省力化のためのモニタリングのニーズが高い。

食品関連分野	製造ラインのモニタリング
建設関連分野	浄水場等のモニタリング
水産関連分野	海水環境のモニタリング及びそのデータ分析による育成管理システムの構築
農業関連分野	圃場のモニタリング
福祉(介護)関連分野	施設の見守り

### (5)長崎市IoT推進ラボ運営委員会 会長:西 亮(工業会会長)、副会長:中野 一英(NISA 会長)

長崎工業会、(一社)長崎県情報産業協会、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学、長崎県工業技術センター、(株)十八銀行、(株)親和銀行

### (6)実施事業

- i)新規事業:IoT活用技術による生産性向上支援補助金(製造業を営む中小企業者)
- ii)講演会・委員会

講演会	H30-4-25(水)	歴史文化博物館	ものづくり企業のための明日からでもできる身の丈のIoT (長崎工業会総会内)
H30 第1回 運営委員会	H31-1-22(木)	長崎市役所	・IoT 推進ラボ概要 ・市内企業のIoTの取組紹介[(株)スワン、崎永海運(株)] ・今後の取組みについて

## I・3 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略):会長 佐藤副会長(NISA)

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始した。

### (1)目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1)地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- 2)企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3)関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4)長崎県内/九州域内のネットワークを通じた支援

### (2)関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)、(一社)長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、東長崎エコタウン協議会(ENEC)

### (3)IT 融合化講演会 H30-6-15(金)、13:30~17:30、ANA クラウンプラザホテル長崎グラバービル

- 1)基調講演 :IoTとAIの融合によるRPA(Robotic Process Automation)の構成方法  
長崎大学大学院工学研究科 教授 小林 透
- 2)講演 2 テーマ  
《詳細はP.14、VI講演・セミナー事業(2)、1)を参照》
- 3)ワークショップ

4)参加者 :117名(会員 58名、会員外 59名)

## I・4 ながさき ICT 戦略研究会(長崎県)

### (1)基本理念

ICT(情報通信技術)を本県の様々な分野における諸課題に対して、積極的・重点的に利活用し、「人、産業、地域が輝くたくましい長崎県づくり」を推進

### (2)推進期間

2016(平成28)年度から2020(令和2)年度まで(5年間)

### (3)目指すべき方向性

基本理念を実現するため、目指すべき方向性として4項目の「基本方針」を定め、各項目に関する施策を積極的に展開

#### <基本方針・戦略構成>

- 1)利便性の高い電子行政の構築(クラウド環境、オープンデータ・ビッグデータ、電子行政サービス)
- 2)安全・安心に暮らせる地域社会の実現(医療・介護・健康、防災・減災、子育て支援・見守り、防犯・バリアフリー、公共インフラ)
- 3)ICTの利活用による産業の活性化(ICT関連分野等、農林水産業、情報発信・通信・環境等、多様な働き方)
- 4)ICT社会を推進するための人材 育成・基盤強化(ICT教育・人材、情報セキュリティ基盤)

### (4)NISA 参加会員(14社)

(株)イシマル、エコー電子工業(株)、(株)NDKCOM、NBC 情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)、オフィスメーション(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)日本ビジネスソフト、不動技研工業(株)、(有)ランカードコム、(株)十八銀行、(株)親和銀行、西日本電信電話(株)西日本支社  
(他 NISA 会員外)長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、(公財)ながさき地域政策研究所、(株)長崎経済研究所、長崎県新産業創造課

オブザーバー:システムファイブ(株)、NISA

### (5)活動

H30-8-9(木)	第7回	県庁 311 会議室	①官民データ活用推進計画について ②ながさきICT戦略の進捗及び改定について ③官民協働クラウドの活用事業提案について
H31-2-1(金)	第8回	県庁 311 会議室	①ながさきICT戦略の一部改定について ②官民協働クラウドの活用状況等について ③官民協働クラウドの活用事業提案について ④官民ラウンドテーブル

## I・5 長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定(長崎県警察本部)

サイバー犯罪、サイバーテロの増加、インターネット上の違法・有害情報の氾濫、コンピュータウィルスの蔓延が社会問題となり、サイバー空間に対する県民の不安感も急速に高まっている中で、本協定は、社会全体での効果的なサイバーセキュリティ対策を推進することにより安全安心なサイバー空間の実現を目指すものである。

### (1)目的

この協定は、協定機関の相互理解による高い信頼と協力関係に基づき安全安心なサイバー空間の実現を目指すことを目的とする。

### (2)連携、協力の内容

協定機関は、前条の目的を達成するため、相互に連携、協力し、次の各号に掲げる事項を推進する。

- 1)サイバー空間の脅威に関する情報の共有
- 2)サイバー空間の脅威への対処に係る技術的支援
- 3)サイバー空間の脅威に対処できる人材の育成
- 4)サイバー空間の脅威に立ち向かう社会全体の意識の向上
- 5)その他協定機関が必要と認めるサイバーセキュリティに関する事項

### (3)協定参加機関

長崎県、長崎県警察、長崎県商工会議所連合会、長崎県商工会連合会、長崎県中小企業団体中央会、(公財)長崎県産業振興財団、西日本電信電話(株)長崎支店、(株)ラック、トレンドマイクロ(株)、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校、NISA

### (4)活動(NISA 事務局参加)

H30-4-19(木)	長崎県警察本部	相互協力協定担当者検討会	・H29 取り組み状況 ・今後の推進事項 ・講演「産学官連携を活かした中長期的人材育成モデル」
H30-6-2(火)	長崎県警察本部	サイバーセキュリティ研修会	(1) 仮想通貨の仕組み及び金融分野における情勢 (2) サイバー空間の現状とその対策 (3) 最近のサイバー犯罪の動向及び産学官連携によるその対策
H30-8-2(月)	参加依頼	サイバーセキュリティボランティア事業	・ボランティア高校生等生徒への IT 関連質問事項への回答・指導等
H31-2	受賞各学校	IPA 情報モラル・セキュリティコンクール優秀賞授賞式	全国優秀賞: ・一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター賞 地域優秀賞: ・一般社団法人長崎県情報産業協会会長賞 ・長崎県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会会長賞 ・長崎県警察本部警務部長賞

## I・6 長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム、ワーキンググループ

### (1) 取組み

H27年7月に設置した本コンソーシアムは、産業界と学校及び行政が緊密に連携し、「県内就職促進・人材確保(UIJターン)」「人材育成(6WG)」「処遇改善」についてワーキンググループで情報共有や意見交換を行い、「人財県長崎」の実現のために有効な具体的取組を検討してきた。

本年度の「人材育成」については①機械金属系製造業の人材育成推進WG、②オフィス系企業の人材育成推進WG、③宿泊業の人材育成推進WG、④情報サービス業の人材育成推進WG、⑤大学生インターンシップのあり方検討WGの各WGが中心となり問題点・改善策等を検討した。

### (2) 関連 NISA 参加組織

- 1)「長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム」参加:NISA 事務局
- 2)「情報サービス業の人材育成推進 WG」  
参加:(株)NDKCOM、オフィスメーション(株)、扇精光ソリューションズ(株)、NISA 事務局
- 3)「大学生インターンシップのあり方 WG」参加:NISA 事務局

### (3) 検討会議 NISA 委員が参加

H30-8-27(月)	県庁 318 会議室	第 3 回情報サービス業の人材育成推進 WG
H31-3-14(木)	県庁 701 会議室	第 4 回情報サービス業の人材育成推進 WG
H30-12-25(金)	県庁 302-5 会議室	第 7 回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議
H31-3-25(月)	県庁 302-5 会議室	第 8 回長崎県産業人材育成産学官コンソーシアム会議
H31-3-13(水)	県庁 303 会議室	第 1 回大学生インターンシップのあり方 WG

## I・7 長崎県 H30 年度地域創生人材育成事業「企業説明会」

### (1) 目的

人口減少社会の中で特に人手不足が見られる分野においては、全国的な雇用情勢の改善や、それぞれの分野での労働需要の高まりに伴い、一層の人手不足が懸念される状況である。こうした地域における人材不足分野の創意工夫に基づく人材育成の取組を促進することを通じ、人材の確保・育成対策を図る。

### (2) 企業説明会/協議会

学校名	開催日時	対象 参加	説明企業
県立大シーボルト校 (長崎 IT 業界研究会)	H30-7-17(火) 16:20-17:50	情報システム学科/ 情報セキュリティ学科 2,3 年生 25 名	(株)イシマル、NBC 情報システム(株)、 (株)亀山電機、システムファイブ(株)、 不動技研工業(株)
県立大シーボルト校 (長崎 IT 業界研究会)	H30-12-11(火) 16:20-17:50	情報システム学科/ 情報セキュリティ学科 1~3 年生 13 名	エコ電子工業(株)、オフィスメーション(株)、 扇精光ソリューションズ(株)、 島原ソフトウェア(株)、(株)ディーエスブランド
県立佐世保商業高等学校	H30-12-5(水) 12:00-12:50	情報マーケティング科 1 年:30 名	大新技研(株)
県立島原商業高等学校	H30-12-7(金) 13:30-15:20	情報処理科 2 年生 32 名	島原ソフトウェア(株)、 (株)ヒューマンウェイブ
県立諫早商業高等	H30-12-10(月)	情報科 1 年生 40 名	(株)NDKCOM、(株)システック井上、

学校	13:20-15:15		(株)ヒューマンウィーブ
協議会	H31-3-15(月)	県庁 303 会議室	H30 年度第 1 回長崎地域人材育成協議会

## I・8 長崎県中小企業団体中央会関連

H30 年度中小企業景況調査報告を代表会員 4 社(本年度 1 社変更)により実施した。

第 1 四半期 (H30 年 04~06 月期)	第 2 四半期 (H30 年 07~09 月期)
第 3 四半期 (H30 年 10~12 月期)	第 4 四半期 (H31 年 01~03 月期)

## II 交流事業

### II・1 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

#### (1) 第 40 回 全情連大会「ANIA 青森大会」(敬称略)

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成 30 年開催地は「青森」であった。

開催:平成 30-9-27(木)、28(金)、ホテル青森

NISA 出席者:7 名

(中野会長、瀧本副会長、須藤理事、酒井理事、石井理事、宅島(十八ソフトウェア株)、事務局長)

主催:一般社団法人全国地域情報産業団体連合会、一般社団法人青森県情報サービス産業協会

共催:公益財団法人日本電信電話ユーザ協会青森支部、東北情報通信懇談会

後援:経済産業省、総務省、東北経済産業局、東北総合通信局、青森県、青森市、青森県商工会議所連合会

参加者:368名

(内訳:行政機関等(ご来賓) 30名、会員企業等(IT 関連企業経営者及び異業種交流者) 249名、一般・学生 89名)

1)ANIA 大会式典 (13:30~14:50)

2)基調講演 (15:00~17:45)

①北前船が運んだ情報ネットワーク!

神奈川大学 外国語学部国際文化交流学科 特任教授 昆 政明

②最先端技術(AI)で健康の未来を予測する~超多項目(2000)健康ビッグデータから見える真の健康の姿~  
弘前大学 COI研究推進機構 教授 村下 公一

3)懇親会 (18:30~20:30)

#### (2)ANIA 通常総会と関連行事(敬称略) H30-7-5(木)、東海大学校友会館

出席:代理(オブザーバー)事務局長

1)通常総会 (15:00~15:25)

議案 i)平成 29 年度事業報告および平成 29 年度収支決算報告

ii)平成 30 年度事業計画および平成 30 年度収支予算

iii)理事・監事の選任について

2)講演会 (16:00~17:00)

①「日本 IT 団体連盟について」 日本 IT 団体連盟 事務局長代理 宮田 洋輔

②「経済産業省の情報政策について」

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐 守谷 学

③「ICT/IoT の地域実装によるデータ主導社会の実現」

総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 松田 昇剛

3)懇親会 (17:30~19:00)

#### (3)ANIA 新春交流会 (敬称略) H31-2-6(水) 18:00~19:30 東海大学校友会館

一般社団法人日本 IT 団体連盟(IT 連盟)と合同で開催

Nisa 5名出席:中野会長、須藤交流委員長、(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦、

(株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資、事務局長

#### (4)ANIA 理事会

	日時	場所	出席	議題
第 1 回	H30-5-1(木) 15:00~17:20	八重洲倶楽部	欠席	・H 29 年度事業報告・収支決算について ・H 30 年度事業計画・収支予算について ・APPLIC 役員候補について ・H 30 定通常会について
第 2 回	H30-7-5(木) 11:30~12:30	東海大学交友 会館	事務局長 (代理・オブザーバ)	・H 30 年度事情計画について ・関連団体への役員等人事について
第 3 回	H30-9-27(木) 11:00~12:00	ホテル青森	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・iCD 協会との相互入会について ・ホームページの https 化について

第4回	H30-11-30(金) 15:00～16:40	京都コンピュータ学院	中野会長(ANIA 理事)	・iCD 協会常任理事選任について ・H 31 年度予算検討について ・部会活動費について
第5回	H31-2-6(水) 16:00～17:30	東海大学交友会館	中野会長(ANIA 理事) 事務局長(オブザーバ)	・H 31 年度事業計画、予算について ・H 31,32 年度役員選任方法について

#### (5) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

	日時	場所	出席	議題
第1回	H30-7-6(金) 10:00～12:00	八重洲倶楽部	事務局長	・青森大会について ・海外視察について ・協会間連携について
第2回	H30-9-27(木) 10:00～10:50	ホテル青森	事務局長	・災害時の対応について ・EQ研修についての報告定義拡大について ・VNITO Alliance について
第3回	H30-11-28(水) 15:00～17:00	サイボウズ 松山オフィス	事務局長	・ANIA の活動について ・ANIA の存在について ・各協会の活動事例について
第4回	H31-2-7(木) 15:00～17:00	八重洲倶楽部	事務局長	・事務局会議の場所や日程について ・全国大会について ・部会等活動費の助成について

## II・2 長崎県立大学 講座「企業研究」

長崎県立大学情報システム学部情報システム学科では、カリキュラムに授業として「企業研究」を組入れている。長崎県の情報産業について、講師派遣の依頼があり下記の通り実施した。

授業名	企業研究「長崎県の情報産業と課題」
講師	中野会長(NISA)
日時	H30-12-13(木)、第3時限目(13:00～14:30)
開講対象	情報システム学科 2,3 年生
授業概要	時間 90 分(講義 45 分、グループワーク 45 分)

## II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工業技術センターの研究成果の説明、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1) 日時: H30-12-20(木) 16:00～17:30

(2) 場所: 出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3) 次第

- 1) 挨拶: NISA 会長 中野 一英/工業技術センター所長 橋本 亮一
- 2) 工業技術センターの概要説明
- 3) おもな新規導入設備の紹介
  - ・精密万能試験機、振動解析装置
  - ・外、おもな試験設備
- 4) 電子情報関係(IoT関連技術等)の開発事例紹介
  - ・海洋産業に用いるデジタルデータと電力の非接触式伝送システムの開発
  - ・無線ネットワークを用いた振動解析装置の開発
  - ・可視化システムを用いたシミュレーション技術の高度化
  - ・光学特性の評価手法確立による非破壊計測装置の応用展開
  - ・三次元デジタル製造に関する要素技術の確立と実部品への応用
  - ・低コストで高機能な発光サイン用導光板の開発
  - ・複雑事象解析に対応可能な連成シミュレーション技術の開発
  - ・機械学習を用いたロボット関連製品の制御技術の開発
- 5) 意見交換

## II・4 通常総会・講演会・交流会 (敬称略)

- (1) **第25回通常総会** H30-6-21(木) 13:45～15:00 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」
- 1) 出席会員数 正会員出席 35名、委任状 26名、合計 61名(総正会員 65社)
- 2) 議題
- i) 第1号議案 議事録署名人の選任の件
- ii) 第2号議案 平成29年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件
- iii) 第3号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件
- iv) 第4号議案 その他の案件
- 3) 報告
- i) 第1号報告 平成30年度事業計画
- ii) 第2号報告 平成30年度収支予算書(正味財産ベース)
- iii) 第3号報告 公益目的支出計画実施報告
- (2) **第25回通常総会 講演会** H30-6-21(木) 16:15～17:45 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」
- 《詳細はP.15、VI講演・セミナー事業(2)・2を参照》
- 1) 演題 :「国が地方に期待するIoTの社会実装と取組事例」
- 2) 講師 :長野県塩尻市 企画政策部参事 CTO(最高技術責任者) 金子 春雄
- 3) 聴講者 :84名(会員67名、非会員17名)
- (3) **新年度 産学官交流会** H30-6-21(木) 18:00～20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」
- 参加者:74名(会員59名+来賓15名)
- (4) **新春講演会** H31-1-24(木) 16:00～17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」
- 《詳細はP.15、VI講演・セミナー事業(2)・4を参照》
- 1) 演題 :「国際都市福岡はどこに向かっているのか！ スタートアップカフェとは？」
- 2) 講師 :らいねん合同会社代表/福岡市グローバルスタートアップセンター牧之瀬 英央
- 3) 聴講者 :109名(会員88名、非会員21名)
- (5) **新春産学官交流会** H30-1-25(木) 18:00～20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」
- 参加者:総数 103名(会員78名+来賓25名)

## II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2回/年開催した。

通常総会時 H30-6-21(木)	会員	エコー電子工業(株)	(株)スタイルネット
	発表者	雨量計システム 局地豪雨対策ソリューション 課長 本山 敏彦	タブレット・Web アプリ連携 勤怠管理システム 清水 恵三
新春産学官 交流会時 H31-1-24(木)	会員	リコージャパン(株) 長崎支社	日本コンピュータ・ダイナミクス(株)/ East Ambition(株)
	発表者	私たちが取り組んでいる働き方 - 働き方変革について - ソリューション戦略グループ リーダー 宮崎 善範	外国人採用・活用のためのポイント NDC 長崎営業所 所長 藤井 辰巳 / 代表取締役 岸 賢

## II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

	日時	場所
第36回	H30-4-26(木)、18:00～20:00	長崎さかな市場
第37回	H30-8-23(木)、18:00～20:00	とりや
第38回	H30-10-25(木)、18:00～20:00	長崎奉行
第39回	H30-12-20(木)、18:00～20:00	炭蔵

## II・7 IPA 第13回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」会長賞選定・授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2018年度14回目のコンクールが独立行政法人情報処理推進機構(IPA)主催で実施された。

昨年同様に後援し、優秀賞(NISA 会長賞)を選定し表彰状を贈呈(県警が代表し各学校へ持ち届)した。

【優秀賞 一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)】

- ・標語部門「ちゃんと見て スマホじゃなくて 目の前」戸野口 瑠依さん(諫早市立諫早中学校 3年)
- ・ポスター部門「言葉の重さ」坂田 光希さん(長崎県立佐世保北高等学校 1年)

※長崎からの作品が下記団体・企業の優秀賞が選定された。

- ・優秀賞 <一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター>
- ・優秀賞 <長崎県警察本部>
- ・優秀賞 <長崎県ネットワーク・セキュリティ連絡協議会>

### Ⅲ 研修事業

#### Ⅲ・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 30 年度は、皆様からのアンケート結果を反映し 27 講座を設定、3 講座は申込みが 3 名以下であった為中止し、24 講座を開講した。受講者は目標であった 200 名に対し 173 名であった。受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げる。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、峰松副委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、大きな成果を上げることができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いた会員の(株)富士通九州システムズ・(株)福岡ソフトウェアセンターを始め、麻生教育サービス(株)に感謝を申し上げます。

#### H30 年度 NISA 研修 実績

	講座名	開講日	日数	受講者数
技 術 系	ネットワークとセキュリティの基礎	5/16～5/18	3	10
	データベース設計ワークショップ～概念設計、論理設計、物理設計～	6/6～6/8	3	4
	業務分析・設計のための要件定義技法実践トレーニング	6/13～6/15	3	4
	仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～	6/20～6/22	3	8
	統計学を用いたプロジェクトデータ分析～SE 業務におけるデータ統計解析～	7/4～7/6	3	4
	システム開発におけるレビュー・テスト技術の定石	7/11～7/13	3	11
	～マルチデバイス対応～レスポンス Web デザイン制作講座	8/1～8/3	3	7
	C#によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編) ～オブジェクト指向からデータベースアクセスまで～	8/8～8/10	3	11
	情報セキュリティ対策実践 ～基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編～(New)	8/29～8/31	3	8
	C#による Web アプリケーション開発(実践編) ～Web フォーム連携技術からアーキテクチャ設計まで～	9/5～9/7	3	8
	ネットワークトラブルの原因分析技術 ～パケットキャプチャリングとトラフィック解析～	9/19～9/21	3	7
	パフォーマンスを上げる SQL チューニング	9/26～9/28	3	7
	実務で活用する UNIX/Linux シェルプログラミング	10/10～10/12	3	6
	システム企画・運用管理者のためのプロセス改善の実践 ～受け身から攻めの運用管理へ～	10/17～10/19	3	6
	サイバー攻撃におけるインシデント対応 ～疑似環境を用いた解析～	10/24～10/26	3	7
	PHP による Web アプリケーション開発	10/31～11/2	3	8
	VB.NET オブジェクト指向プログラミング入門	11/14～11/16	3	6
	Linux サーバの導入と管理	11/28～11/30	3	6
	IoT を用いた新システム提案 ～基礎技術、事例、アイデアソン、提案～(New)	12/5～12/7	3	5
	アジャイル開発&スクラムトレーニングワークショップ	12/12～12/14	3	7

	IoT時代のビジネスアナリシス入門～(New)	12/19～12/21	(3)	(3) 中止
	データサイエンティスト育成～データの収集、分析、評価～(New)	H31/1/9～1/11	3	7
	デモンストレーションと演習で学ぶIoTとAI(機械学習)のテクノロジー(New)	H31/1/30～2/1	3	11
ヒューマン系	プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～	5/9～5/11	(3)	(1) 中止
	リーダーシップ力養成研修 ～部下のやる気と協力を引き出し、Win-Winの関係を築く!～	7/18～7/20	(3)	(3) 中止
	ITプロジェクトにおける次期若手リーダー育成～指導者の条件～	11/7～11/9	3	6
	IT技術者のためのコミュニケーション～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～	H31/1/16～1/18	3	9
	合計		72日	173名

### Ⅲ・2 JISA 補助金による研修(「講演セミナー事業」)(敬称略)

JISAからの補助金「地域高度化事業(研修)」で下記を計画したが、申込者が少なく取止めた。

#### (1)IoT通信 LPWA LoRaWAN システム開発入門講座

日時:H31-2-7(木)・8(金)

会場:出島交流会館

講師:合同会社NEXT STEP 代表 上野 和昭

受講申込数:3名

### Ⅲ・3 新入社員向けIT技術者研修を実施(「受託事業」)(敬称略)

(株)エンベックスエデュケーションとタイアップし、厚労省「人材開発支援助成金(特定認定実習併用職業訓練コース)」を適用して、H30年度の新入社員研修を「長崎・佐世保」の2会場で実施した。助成金制度の活用により、本研修は企業負担がほぼ無く実施した。

	長崎会場	佐世保会場
講座	JavaWeb 技術者養成コース	C#.NET 技術者養成コース
期間	H30/4/6(金)～6/1(金)(38日間)	H30/4/4(水)～5/31(木)(38日間)
会場	Nisa 研修室	長崎県立佐世保技能会館
講師	(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 嘉門 保夫	(株)エンベックスエデュケーション 人材育成本部 末吉 浩久
受講者	4社5社	3社9名

### Ⅲ・4 IPA「i(アイ)コンピデンシ ディクショナリ」(中小企業向けITスキル標準)

「iコンピデンシ ディクショナリ」(以下、iCD)は、企業においてITを利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができる。本システムの活用を通じて、人材育成戦略の立案(Plan)、育成施策の実行(Do)、自組織のリソース状況の把握(Check)、目標の再設定(Act)といった組織における人材育成のPDCAサイクルを回す活動の一助となることが期待される。

H26、H27年に「iCD ワークショップ」を長崎で開催し、会員6社「オフィスメーション(株)、(株)NDKCOM、不動技研工業(株)、(株)イシマル、NBC情報システム(株)、扇精光ソリューションズ(株)」が参加した。その後の活動を通して「iCD活用企業認定」では、企業でのiCDの活用レベルや成果の大きさに応じた認証レベルのSilver Plus 3社、Silver 3社となった。

なお、推進母体はIPAから新たに設立された「(一社)iCD協会(iCDA)」が普及・ワークショップ活動を実施する。

#### (1)活動を推進する為、情報交換会を実施(福岡開催にも参加)

情報交換会	開催日・時	参加
長崎 第2回情報交換会	H30-9-12、15:00～17:30	NISA 会員5社・事務局、iCDA
福岡 第11回合同情報交換会	H30-9-14、13:30～17:30	12社、NISA事務局、iCDA他
福岡 第12回合同情報交換会	H31-2-5、13:30～17:30	13社(内NISA2社)事務局、iCDA他、

#### (2)「iCD活用企業認証」認証書およびロゴ

iCD活用企業認証では、企業でのiCDの活用のレベルや成果の大きさに応じて認証レベルを用意している。認証レベルは、iCD Blue、Silver、Silver Plus、Gold★、Gold★★、Gold★★★の6段階となる。

日本におけるiCDを飛躍させることを目的にiCDに取組み活用している企業を認証する制度をスタートし、「iCD活用企業認証」されている企業を広く紹介している。

iCDの活用状況に応じてBlue/Silver/Gold段階で認証した。NISA会員のiCD活用企業は、Silver Plus、あるいはSilverの認証を受け、それぞれの認証ロゴをHP・名刺等に記載し、企業イメージアップに利用できる。

### Ⅲ・5 大学で実施される人材育成研修及びセミナー（敬称略）

#### (1) セミナー

H30-7-10	インドのIT最新事情、インドと日本の連携について	長崎大学 (独)中小企業基盤整備機構・九州本部
H30-11-7	標的型攻撃メール及びウイルス感染に関する講話、デモンストレーション	長崎大学情報セキュリティ委員会
H31-3-23	社会的出来事と連動するサイバー攻撃と、今後想定すべき脅威	長崎県立大学、 長崎県サイバーセキュリティ研究会

## Ⅳ 人材高度化能力開発事業（「助成金受給支援事業」）

H16年度からキャリア形成促進事業を始め、H23年度から成長分野等人材育成支援事業（奨励金）、またH25年には日本再生人材育成支援事業（奨励金）を実施したが、成長分野・日本再生（奨励金）制度はH25年度に終了した。

H26から28年度は前制度を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。H29年度からは、前制度が大幅改訂され「人材開発支援助成金」となった。H30は改訂版を引続き適用し実施した。NISA研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪であり、H30年度研修の訓練計画書および支給申請書の提出を積極的に推奨し、書類提出の支援を行った。

**事務費：「人材開発支援助成金：10%、ただし、認定実習併用職業訓練：1%」として実施。**

#### ※人材開発支援助成金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると言われており、人材こそがIT業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取り組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA事務局は助成金申請の支援を継続し行っています。

なお、人材開発支援助成金は、特定訓練コース（35歳未満で入社5年以内の者に対する若年者訓練・認定実習併用訓練等）と一般訓練コース（特定コース以外）に分かれ、それぞれの助成額・率が異なる。

また、生産性向上に係る要件（特定コース：訓練開始日の会計年度の前年度と比べ3年後に生産性が6%の伸び、一般コース：支給申請する直近生産性が3年度前に比べて6%または1%の伸び）を満たした場合、助成額・率が割増される制度が新設された。

#### (1) 人材開発支援助成金

##### 1) 計画届様式へ必須項目の記載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISAでは訓練実施計画届様式にNISA研修内容搭載してわかりやすくまとめ、また、作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

##### 2) 訓練実施計画届書のチェック支援（H30-3～）

i) 人材開発支援助成金は、初回訓練計画届は研修・訓練開始の1カ月前まで、以降新規の研修受講の際は、訓練開始1カ月前までに、また訓練計画内容の変更（人数・受講者等）は訓練開始の前日までに「変更届」の提出が必要である。

ii) 長崎労働局へ提出するが、「訓練計画実施届」であり認定ではない。

iii) 保管必須書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。

iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続環境等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、人材開発支援助成金に係る研修実施場所に関する委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ研修実施場所を提出し、受講企業の負担軽減と申請漏れの防止を図っている。

v) 「訓練実施計画届」「変更届」等共同チェックの支援を実施した。

##### 3) 支給申請書のチェック支援（事務費：確定支給額の10%、認定実習併用職業訓練は1%）

i) 支給申請は「各訓練終了日の翌日から2か月以内」に申請書の提出が必須。

ii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から2か月以内」に実施した。

支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施し、申請数は延べ73件であった。

#### (2) 留意点のメールによる配信と対面・電話相談

## V 情報収集提供事業（「情報提供事業」）

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進する。更に産業構造変革による生産性向上を行うには、IoTの取込みが欠かせない。

これらの実現のためには、ICT化、およびAI・IoTに関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報をHP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域のICT化の取組みや施策の提案等を行う。

(NISAのホームページを地域におけるICT関連のポータルサイト化を推進)

(1)提供項目:	1)研修・講座	29件	
	2)セミナー・シンポジウム	26件	
	3)報告会・講演会	11件	
	4)政府および自治体からの通知等	50件	
	5)試験・コンテスト募集、その他	2件	
	6)関連団体(JISA・ANIA)情報	114件	計 232件

## (2)団体情報

情報源として、「一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、総務省九州総合通信局、経済産業省九州経済産業局、長崎県・市、公益財団法人長崎県産業振興財団、長崎県工業技術センター、佐世保情報産業プラザ、長崎大学、長崎県立大学、長崎総合科学大学、佐世保工業高等専門学校」からの情報をメールで配信。

## (3)主情報

経産省 九経局・総務省 九総局		開催日
1	「高度外国人材活躍企業50社」の公表	2018/6/11
2	H30年度の情報化促進個人等表彰の推薦公募等	2018/7/12
3	「消費税転嫁対策特別措置法」セミナー(10/5開催)	2018/9/6
4	「消費税率の引上げに伴う価格設定について(ガイドライン)」	2018/12/17
5	九州IoTコミュニティ「5G デジタルトランスフォーメーションセミナー」(3/19開催)	2019/3/7
6	改元に伴う情報システム改修等への対応についての説明会(2/22開催)	2019/3/7
7	放送コンテンツセミナー(3/28福岡開催)	2019/3/12
<b>長崎県</b>		
1	成長分野高度人材育成支援事業企画提案の公募(期間 H31/2/1 まで)	2018/4/6
2	平成30年度長崎県ロボット、IoT関連産業育成支援業務委託に係る入札情報(期限 5/7)	2018/4/25
3	『九州・山口ベンチャーマーケット』出展企業募集	2018/5/7
4	IT導入補助金(H29年度補正予算)に関する「IT導入支援事業者」の登録願い。	2018/5/8
5	『ワーク・ライフ・バランス企業内推進リーダー養成研修会』の開催	2018/5/29
6	(雇用労働政策課) Faith「労政ながさき 2018-6月号 No.109」	2018/7/3
7	【次世代情報産業クラスター協議会】第1回経営者向けセミナー(8/7開催)	2018/7/13
8	【次世代情報産業クラスター協議会】システムインテグレート育成講座(ロボット/IoT)	2018/8/18
9	【次世代情報産業クラスター協議会】IoT・AI推進プロジェクト in Nagasaki 講演会(1/25開催)	2018/12/14
10	【次世代情報産業クラスター協議会】次世代産業用ロボット操作体験セミナー(1/25開催@佐世保)	2019/1/22
11	【次世代情報産業クラスター協議会】「自動化ロボット導入の効果&IoT活用に向けてのはじめの一歩」	2019/1/31
12	長崎県プロフェッショナル人材戦略拠点(プロナ)事業説明会(8/7開催)	2018/7/19
13	長崎県における産業人材育成支援制度(研修・補助金)の一覧	2018/8/7
14	『知財ビジネスマッチング in 県南 2018』(8/29開催)	2018/8/21
15	マイコンプログラミング講座(9/3,4開催)	2018/8/24
16	「イクボス養成セミナー」(9/10開催)	2018/9/3
17	『第4回九州・山口ベンチャーマーケット』(10/19開催)	2018/9/4
18	(株)フロンティア・アカデミー向け企業説明会(10/24開催)	2018/9/27
19	情報サービス企業のための「大学・高校新卒採用セミナー」(11/22開催)	2018/10/25
20	製造業・情報サービス業等における人材育成セミナー(11/29開催)	2018/11/6
21	(雇用労働政策課)「Faith 労政ながさき(2018年10月 Vol.110)」	2018/11/7
22	「県産業人材育成奨学金返済アシスト事業」《支援候補者》の募集(5/7締切)	2018/12/3
23	人材育成と人事考課(評価)についての社内制度研修会(2/12開催)	2019/1/18
24	国交省「スマートシティの実現に向けたニーズ募集」県提案分に関する県内技術シーズの募集(2/15締切)	2019/1/30
25	企業内研修に活用可能な「たのめる講師」リスト公開	2019/2/27

26	平成 30 年度長崎県再生可能エネルギー推進フォーラム(3/20 開催)	2019/3/7
<b>長崎県工業技術センター</b>		
1	平成 30 年度研究成果発表会(4/16 開催)	2018/4/3
2	電気・電子機器部品技術セミナー(6/13 開催)	2018/5/23
3	NK 規格の取得に関する技術セミナー(7/23 開催)	2018/7/9
4	センター一般公開(11/10 開催)における企業出展の募集	2018/8/30
5	第 10 回長崎県産学官テクノフォーラム(11/26 開催)	2018/10/3
6	標準化と品質管理 九州地区大会 2018 & 企業相談会(10/29_福岡開催)	2018/10/22
7	計測応用技術セミナー(12/6 開催)	2018/11/30
8	第 27 回先端技術導入促進セミナー(12/25 開催)	2018/12/3
9	自動制御技術研究会「ドローンセミナー」(2/4 開催)	2019/1/11
10	環境に配慮した洗浄・水処理技術の動向セミナー(3/1,15 開催)	2019/2/5
<b>長崎県警察本部</b>		
1	サイバーセキュリティ通信 vol.4	2018/11/27
2	サイバーセキュリティ通信 vol.5	2018/12/19
<b>長崎県立大学</b>		
1	情報セキュリティ・セミナー(3/23 開催)	H31/3/6
<b>長崎大学</b>		
1	「インドの IT 最新事情、インドと日本の連携について」セミナー(7/10 開催)	H30/6/27
2	H30 年度情報セキュリティ講習かい(11/7 開催)	H30/10/25
<b>長崎総合科学大学</b>		
1	公開講演会「ICT,IoT,AI は私たちの生活にどう活かされているか」(9/22 開催)	H30/8/24
<b>長崎県中小企業団体中央会</b>		
1	「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」公募	H31/2/19
<b>長崎市</b>		
1	平成 30 年度「エコアクション 21 説明会」(7/18 開催)	2018/5/30
2	(商工部) 採用力アップセミナー(7/23 開催)	2018/6/27
3	(商工部)「長崎市採用活動支援補助金」補助対象事業者の募集	2018/8/1
4	(商工振興課)「福地茂雄氏講演会」(8/24 開催)	2018/8/17
5	『保護者のための就職活動セミナー』(9/15 開催)	2018/8/24
6	長崎おしごと一く in 福岡(10/28 開催)	2018/10/10
7	(商工部)第 2 回「採用力アップセミナー」(11/21 開催)	2018/10/22
8	平成 30 年度「長崎市環境セミナー」(2/25 開催)	2019/2/1
9	コラボながさき[異業種交流研修](2/20 開催)	2019/2/8
<b>佐世保情報産業プラザ</b>		
1	ウェブサイトのセキュリティ対策[常時 SSL]勉強会(10/30 開催)	H30/10/16
2	20 世紀の TV 制作の真実と情報社会における TV の行方(11/22),ブロックチェーン(11/30 開催)	H30/10/29
3	ビッグデータ活用セミナー(1/17 開催)	H31/1/7

## VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT 化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取り組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有しその情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

### (1) 事業

- 1) 開催回数 : 2~4回/年
- 2) 案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人の HP に掲載
- 3) 対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4) 参加人数 : 40~80名

### (2) 実施内容(敬称略)

- 1) IT 融合化講演会 H30 年 6 月 15 日(金)、13:30~17:30、ANA クラウンプラザホテル長崎グラバービル
  - i) 基調講演 : IoT と AI の融合による RPA(Robotic Process Automation) の構成方法  
長崎大学大学院工学研究科 教授 小林 透
  - ii) 講演

- ①人と相互理解できる人工知能技術の社会実装に向けて  
産総研 人工知能技術コンソーシアム 代表 本村 陽一
- ②ものづくりへの人工知能技術の導入推進に向けて  
産総研 同 コンソーシアム ものづくりWG リーダー 原田 奈弥
- iii) ワークショップ
- iv) 主催:長崎県 IT 融合化推進協議会(ES-Nagasaki)
- v) 共催:長崎県、一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)、(株)システック井上
- vi) 参加者 : 117名(会員 58 名、会員外 59 名)
- 2) 通常総会時講演会 H30-6-21(木) 16:00~17:45 ホテルセントヒル長崎**
- i) 演題 : 「国が地方に期待するIoTの社会実装と取組事例」
- ii) 講師 : 塩尻市 企画政策部参事 CTO(最高技術責任者) 金子 春雄
- iii) 概要 : もう始まっている人口減少時代に、国が考えているIoTを代表とする情報技術を駆使した情報化社会と、地方に期待する取組を事例を含めて紹介し、また、ブロックチェーンなどの新しい情報技術から生まれる新たな社会システムを解説する。  
今回、社会実装事例をもとにして、長崎の企業におけるビジネス展開、推進への指針となる講演をして頂いた。
- iv) 聴講者 : 84 名(会員 67 名、非会員 17 名)
- 3) セミナー H30-10-5(金)、出島交流会館**
- i) テーマ: 「消費税転嫁対策特別措置法」
- ii) 講師 : 九州経済産業局中小企業課消費税転嫁対策室調査専門委員 大谷 康博、高城重之
- iii) 内容 : ①消費税転嫁対策特別措置法」の説明、②各業界に共通して多い違反事例について、③当業界に多い違反事例について、④来年9月迄に対応すべき事項
- iv) 参加者: 12 名(NISA 会員 11 名)
- 4) 新春講演会 H31-1-24(木) 16:00~17:30 ホテル セントヒル長崎**
- i) 演題 : 「国際都市福岡はどこに向かっているのか! スタートアップカフェとは?」
- ii) 講師 : 福岡市グローバルスタートアップセンター /らいねん合同会社 代表 牧之瀬 英央
- iii) 概要 : 2014 年 5 月 11 日、福岡市は、国家戦略特区『グローバル創業・雇用創出特区』に選ばれた。  
この4年ほどの間に福岡市のグローバル化は着実に進んでいる。創業を支援する『スタートアップカフェ』が2014年10月にオープン、2017年4月には現在の所在地である旧大名小学校へ移転。旧大名小学校は、スタートアップ企業 150 社が集まるスタートアップに関する一大拠点となり、かつ、明確な目的地となった。  
移転とほぼ同時の2017年5月には、スタートアップカフェ内に『グローバルスタートアップセンター』が設立され、起業経験がありかつ海外での業務経験のある英語など外国語が堪能なスタッフが、外国企業・外国人のスタートアップを手取り足取りサポートしている。  
福岡がグローバル化ができた固有の要因はあるが、長崎でできないわけではない。どんな仕組みがあればいいのか?も合わせてご講演頂いた。
- iv) 聴講者 : 109 名(会員 88 名、非会員 21 名)
- 5) セミナー H31 年 2 月 15 日(金)、出島交流会館**
- i) テーマ: 「これから始める AWS クラウド」
- ii) 講師 : アマゾンウェブサービス ジャパン(株) 藤原 吉規、奥田 洋生
- iii) 内容 : クラウドを利用する事のメリットや AI/IoT などの最新状況を事例を交えながらご説明  
・基本的なサービス(仮想サーバー、仮想ネットワーク、ストレージサービス)についてのセッション  
・安心して利用するためにセキュリティやアクセスコントロールについてのセッション
- iv) 参加者: 19 名(NISA 会員 17 名)

## Ⅶ 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

- (1) 第 1 回 理事会(役員会) H30-4-26(木) 15:15~17:30、長崎市図書館会議室、  
議事録担当 荒木(泰)理事、役員以外の出席者:なし
- 1) H30 年度役員(理事・監事)の公募:承認
- 2) H30 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業、および招待者について:承認
- 3) H29 年度仮決算と仮法人税・仮消費税:承認
- 4) NISA 委員会の「H29 年度活動報告」と「H30 年度方針と計画」:承認
- 5) 厚労省「人材開発支援助成金」(H30.4改正):報告
- 6) IT 融合化講演会 2018 in Nagasaki の NISA 共催:承認

- (2) **第2回 理事会(役員会)** H30-5-24(木) 15:40~17:30、長崎市図書館会議室、議事録担当 梁瀬理事  
役員以外の出席者:なし
- 1) H30 年度役員(理事・監事)の公募:承認
  - 2) H30 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の確認:承認
  - 3) H29 年度決算と公益目的支出計画実施結果(監査 5/11 完了):承認
  - 4) H30 年度 JISA 地域活性化事業の募集:承認
  - 5) 福祉ソフト(株)入会:承認
  - 6) 「県立大・情報システム学部」への企業説明会:承認
- (3) **第3回 理事会(役員会)** H30-6-21(木) 13:00~13:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 山口理事  
役員以外の出席者:なし
- 1) 任期満了に伴う理事・監事選任:確認
  - 2) H30 年度通常総会・講演会テーマ・わが社の一押し・交流会体制の確認:確認
  - 3) 平成 30 年度 JISA 地域活性化事業の実施(募集:6/30 申請締切):承認
- (4) **臨時理事会(役員会)** H30-6-21(木) 14:45~14:55、ホテルセントヒル長崎、役員以外の出席者:なし
- 1) 代表理事1名の選任の件:承認
  - 2) 副会長2名の選任の件:承認
  - 3) 委員長6名の選任の件:承認
- (5) **第4回 理事会(役員会)** H30-7-26(木) 15:40~17:00、佐世保情報産業プラザ・大会議室、  
議事録担当 濱口理事  
役員以外の出席者:県新産業創造課 新産業支援班 立石参事、中川係長
- 1) 新役員体制と各委員会の副委員長選任:承認
  - 2) IoT・AI 推進プロジェクト in Nagasaki:承認
  - 3) 会員増強活動について(拡大委員会):承認
  - 4) 会員参加型事業:承認
  - 5) 長崎県立大学情報システム学科 授業「企業研究」講師選定:承認
- (6) **第5回 理事会(役員会)** H30-8-23(木) 15:30~17:30、出島交流会館 9F、議事録担当 山口理事  
役員以外の出席者:なし
- 1) 会員増強活動(拡大委員会):承認
  - 2) IoT・AI 推進プロジェクト 製造業付加価値創造ワークショップ(案内・募集):承認
  - 3) 長崎県警「セキュリティボランティアの募集」:承認
  - 4) 新入社員向け技術者研修の開催:確認
  - 5) 長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催:承認
  - 6) 「消費税転嫁対策特別措置法」セミナー開催:承認
- (7) **第6回 理事会(役員会)** H30-9-20(木) 15:00~17:00、出島交流会館 9F、  
議事録担当 荒木(久)理事、役員以外の出席者:なし
- 1) [理事会前]第5回長崎デジタルコンテスト開催結果報告(株)アドミン コンテスト実行委員長 浦崎 風
  - 2) 会員増強活動:承認
  - 3) 会員入会(有正文社印刷所):追承認
  - 4) 平成 31 年新春講演会(1/24・木)テーマおよび講師:承認
  - 5) 平成 31 年新春「わが社の一押し」発表企業(募集):承認
  - 6) 長崎県工業技術センターとの意見交換会の開催:承認
  - 7) 平成30年度 JISA地域活性化事業(JISA助成決定):確認
- (8) **第7回 理事会(役員会)** H30-10-25(木) 15:00~17:30、出島交流会館 9F、議事録担当 松尾理事  
役員以外の出席者:なし
- 1) 会員増強活動:承認
  - 2) 会員入会(株)カナル、(株)ティエルエス:追承認
  - 3) 平成 31 年新春講演会(1/24・木)テーマおよび講師:承認
  - 3) 平成 31 年新春「わが社の一押し」発表企業の検討:承認
  - 4) 平成 31 年度 NISA 研修のアンケート用選定講座:承認
  - 5) 平成 30 年度 JISA 地域活性化事業:承認
  - 6) 大学生・高校生の新卒採用セミナーの開催(県若者定着課):承認
  - 7) 長崎県地域創生人材育成事業に係るセミナー・企業説明会開催:承認

8)たのめる講師による人材育成研修会開催(県若者定着課):承認

**(9)第8回 理事会(役員会)** H30-11-22(木) 15:25~16:30、出島交流会館 9F、議事録担当 酒井理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)会員増強活動:承認
- 2)会員入会(株カナル、株ティエルエス):追承認
- 3)平成31年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認
- 4)平成31年新春産学官交流会のご招待者:承認
- 5)「これから始める AWS クラウド」セミナー開催:承認

**(10)第9回 理事会(役員会)** H30-12-20(木) 14:00~15:30、出島交流会館 9F、議事録担当 高橋理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成31年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会、招待者」:確認
- 2)平成30年新春産学官交流会のご招待者:承認
- 3)カスペルスキー ゲーム形式サイバーセキュリティ演習 KIPS in Nagasaki:承認
- 4)平成31年度 NISA 研修の講座選定:承認
- 5)IoT・AI 推進プロジェクト in Nagasaki の開催:確認
- 6)「これから始める AWS クラウド」セミナー開催:承認
- 7)人材育成のための社内制度構築研修(県若者定着課)開催:確認

**(11)第10回 理事会(役員会)** H31-1-24(木) 13:30~14:30、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 石橋理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成31年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認
- 2)平成31年度研修計画(研修委員会):承認
- 3)人材育成と人事考課(評価)についての社内制度研修会(県若者定着課)開催:承認
- 4)大学院地域創生研究科修士課程(仮称)の設置に係るアンケート調査の実施(県立大):承認
- 5)平成30年度 NISA 活動トピックス検討審議:確認

**(12)第11回 理事会(役員会)** H31-2-21(木) 15:00~17:00、出島交流会館 9F、議事録担当 柿田理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)H30年度理事会・役員会の開催日程:承認
- 2)会員入会(株クリティックミッションジャパン):承認
- 3)決算 予想と対策 (収益事業):承認
- 4)決算 予想と対策 (収益事業):承認
- 5)NISA 委員会の H30 年度活動報告と H31 年度の各委員方針提出:承認
- 6)「平成31年度 NISA 研修概要とスケジュール等」冊子の送付・HP 掲載:承認
- 7)H26 年度 NISA 活動トピックス:確認
- 8)事務局員採用:承認
- 9)H31 年度理事 1 名増員(通常総会で選任):承認

**(13)第12回 役員会** H31-3-22(木) 15:00~16:45、Nisa 研修室、議事録担当 北口理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)H31 年度役員(理事・監事)のうち理事 1 名増員:承認
- 2)H31 年度通常総会の日程・講演会テーマ検討(4 月理事会で決定):承認
- 3)H30 年度通常総会の「わが社の一押し」発表企業の検討(募集):承認
- 4)決算(収益事業) 予想と対策(3/22 現在):承認
- 5)NISA 委員会の「H30 年度活動報告」と「H31 年度方針と計画」:承認
- 6)第8回デジタルコンテストの後援:承認
- 7)小中学生のコンピュータ プログラミングコンテスト(デジタルコンテスト)長崎開催(検討):承認
- 8)クラウド活用セミナー開催:承認
- 9)H30 年度 NISA 活動トピックス:確認

